



第 38 回溶媒抽出討論会を理工学部で開催

【概要】

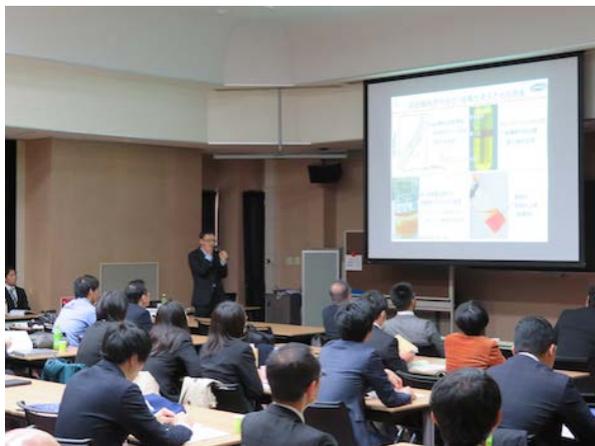
令和元年 11 月 20 日（水）～21 日（木）に、第 38 回溶媒抽出討論会が理工学部で開催されました。金属の湿式製錬などに係わる全国からの大学や企業の研究者が一堂に会し、講演会やポスター発表を実施しました。

【本文】

令和元年 11 月 20 日（水）～21 日（木）に、日本溶媒抽出学会主催の第 38 回溶媒抽出討論会が、理工学部の共催と日本化学会を始めとする化学関連 11 学会の協賛を得て、理工学部 6 号館多目的セミナー室で開催されました。本会は毎年開催されている研究討論会で、全国の大学や企業から金属の湿式製錬などに関連する多数の研究者が研究成果を発信する研究討論会です。日本原子力研究開発機構物質科学研究センター 元川 竜平 氏の「抽出錯体溶液のつくる階層構造と相挙動」と題した特別講演と、22 件の一般講演、35 件のポスター発表が行われました。また、日本溶媒抽出学会が選出した奨励賞（新規抽出剤やイオン液体の特異性に基づいた革新的抽出分離システムに関する研究）と学会賞（溶媒抽出法の生体分子への応用とイオン液体を用いた先導的研究）の受賞者による受賞講演も併せて実施されました。

佐賀での開催は平成 10 年の第 17 回以来 21 年ぶりで、第 17 回は日本溶媒抽出学会に加えて日本イオン交換学会と日本吸着学会との共同開催のもと、日本吸着学会・日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会「3 学会の協同効果」と題して開催されました。第 38 回の本討論会においても、イオン交換、原子力、化学工学、分析化学などの関連分野から 85 名の参加者による熱心な議論と交流がなされ、盛会となりました。初日の夜には市内のレストランを貸し切って懇親会が行われ、さらに熱い議論が交わされました。

広告掲載により本会を支援くださりました 5 社の企業様、大会等開催支援補助金により支援くださりました佐賀市観光協会の関係各位にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



特別講演の様子



ポスター発表会の様子



一般講演の様子



学会賞受賞講演の様子



佐賀市観光協会よりお借りした「おもてなしバナー」